

中央分水嶺 高島トレイル 後半(横谷峠～桑原橋)

日時:2023年11月3日～5日

メンバー:A原(単独)

報告:

去年の同じ時季に高島トレイルを歩いたが、いろんな事情で4/12区間を残し終わってしまった。

去年歩いたのは愛発越～行者山:

去年の記録(銀座山の会 HP20221103-05 高島トレイル(愛発越～行者山)参照

このままでは終われないのでこの3連休で残りの、横谷峠～桑原橋を踏破することにした。

■11/2(木) 新宿駅発京都行の夜行バスに乗る。翌朝 5:30 に京都駅に到着予定だ。取り合えず寝酒をし眠りにつくも寒い空調のためうつらうつらのまま過ごした。

途中、事故か工事か渋滞でノロノロ運転があったようだ。

ふと目を覚まし時計を見ると4:30。あと1時間か、とグーグルマップで現在地を確認すると「豊田」の文字。え？トヨタの豊田？って名古屋あたり？ちょ待てよ～。あと1時間で着くんかい？ いや、着くはずない。2時間はかかりそうだ。

この状況、乗客はわかってるんかい。車内はいたってすやすやモード。きっと裏道とか使ってここから挽回するに違いない。果報は寝て待て。寝よう。

しかし挽回するどころかどんどん到着予定時間は延びていくっぽう。

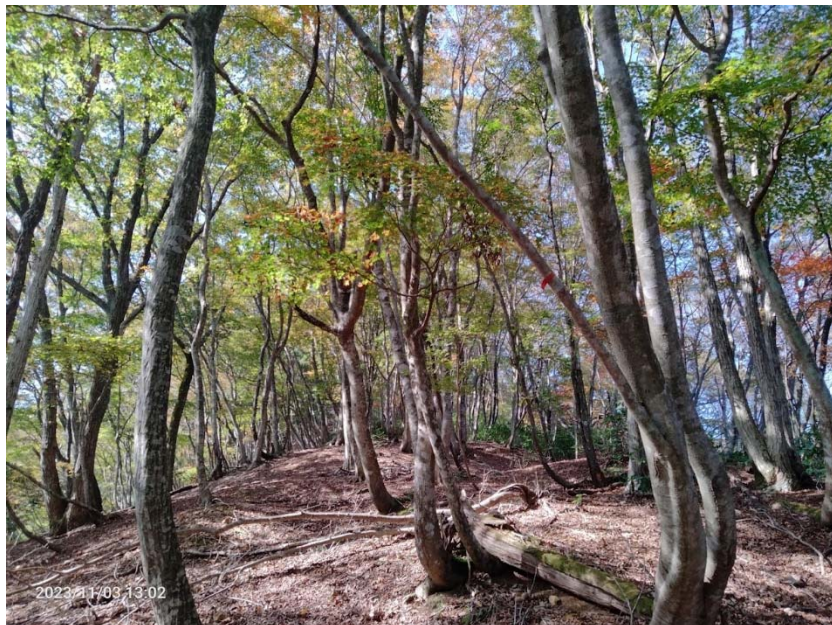
当初の到着予定時間の5:30になっても何の車内アナウンスもない。カーテンの隙間はすっかり朝の気配だ。こんなに遅れて乗客による暴動は起きないかしらん。私の山は？行けるの、高島トレイル。ひとりザワザワ&モヤモヤ。

■11/3(金) 結局、京都到着は3時間遅れの8:30。京都駅は外人さんや団体さんでごった返した。嗚呼。

朝の「なか卯」は東アジア系のひとと言葉であふれカオス状態。もはやここでは私が異邦人。鉄ちゃんてやたら混んだ湖西線に乗り、安曇川駅からバスに乗り換えさらにバスを乗り継ぎ、登山口がある横谷BSに着いたのは11:45だ。うう、3時間遅れ(泣)。

バスの運転手さんからは、「ここから歩き出す人は珍しい、熊に気をつけてね」と脅しか声援か緊張させられる言葉をいただいた。

横谷BSから横谷峠には、くねくね車道を行くか沢沿いに行くか迷ったが沢沿いのほうが断然近そうだ。地図には沢沿いに点線はあるものの、行った記録は見なかった。果たして行けるだろうか。



いざ行くと小さな谷のような沢沿いに行く。道はない。最後は傾斜のキツイ斜面を這い上がって車道に出た。はあはあ。横谷 BS から 1 時間かかった。最初から車道を行った方が早かったかもしれない。

横谷峠(駒ヶ岳登山口)には、高島トレイルのシンボルの黄色いリボンがあった。

水場で 1.5L ほど補給し、12:40 高島トレイル後半戦のルートに突入だ。沢沿いのアプローチで体力を消耗し、いきなりの急坂がきつい。

まだ緑が残るブナの林に行く。ところどころテントを張りたいと思える気持ちのいい台地が出てくる。

明るく黄葉したブナ林になり、なだらかな二重稜線がとても美しい。いろんな形の落葉が積もって靴が埋まるほど。静かな森にカサカサ歩く音が響く。駒ヶ池の水面は青空を映していた。

駒ヶ岳では琵琶湖か若狭湾が見えた。先を急ぐので山座同定もままならない。日が暮れるまでにテンバに着きたい。

16:20 桜谷山。りっぱなブナの巨木があった。ここまでくれば今日の泊り場の木地山峠ももうすぐだ。ここまで誰とも遭わなかった。誰かいるかな。いてほしいな。

16:37 木地山峠とうちゃこ。小さな祠があった。日暮れにはどうにか間に合った。ありがとうございました。

テントが 2 張りあった。単独の男性と外人さんだった。

水場までは 5 分ほど降りる。水量は豊富。

テンバはちょっと傾いているけど落葉でふかふかなのでまあ優良物件。樹が茂って展望がないのがちと残念だが、夜は葉陰から星がきらきらしていた。

夜はちっとも寒くなかった。



■ 11/4(土) 朝、曇り。雨か樹についた雫かポツポツときている。

テント撤収のときに外人さんがテントポールが折れたのだがテープ持ってない？と来たのでテープをあげた。

逆方面に行く外人さんと、おにゅう峠へ向かう単独の男性を見送り、7:02 出発。白く霧に煙る森に行く。百里ヶ岳までの登りがキツイ。途中でテンバで一緒だった単独者を抜いた。

百里ヶ岳では青空となって雲海が望めた。

8:37 根来坂峠。ここが小浜と京都を結ぶ鯖街道だ。鯖の看板がかわいい。鯖街道とはそのむかし、若狭湾で獲れた鯖を塩漬けにして福井の小浜から京都へ運ぶ古道のことで、一昼夜かけて京に着くころ「ええ塩梅」の塩鯖になり都で珍重されたそう。

おにゅう峠の手前で車道に出てライダーやドライバーに会う。見晴らしのいいところでここで泊まるのも良さそうだ。



c659 を過ぎると「水 2 分」のプレートあり。1.5L ほど補給しザックが重くなった。

11:45 三国峠。ここからは、芦生研究林の入山規制ルートと林道ルートがあり、水場があるという林道ルートを行くつもりだったが、気がついたら入山規制ルートをかなり行ってしまっていたので、そのまま進むことにした。

あてにしていた水場を通らないので残りの水が心配になった。もう 1 泊山中でするには水が足らなそうだ。

12:47 地蔵峠。地形図をみると沢形が道を横切っているので期待したが、細い流れで取るには時間がかかりそうなので諦めた。蜘蛛の巣が多くてイライラ。

14:36 岩谷峠。この時間なら今日のうちに下山できそうだ。下りてどこか宿に泊まってお風呂にはいろう。美味しいもの食べよう。

高島トレイル終点の三国岳をピストンした。15:33 三国岳げっと～。やった～。

もうここからは消化試合。うっそうとした杉林は薄暗くなってちょっと不気味な雰囲気だ。逃げるように駆け下りた。

16:14 三国岳登山口到着。川沿いを行き民家が現れ、16:30 桑原橋にとouchャこ。終わった～～。行動時間 9 時間半。年甲斐もなくよく歩いた。頑張ったぞジブン。

17:04 バスに乗り朽木へ。

17:50 バスの終点、道の駅に着いた。民宿やキャンプ場を探したが今晚は空いておらず、道の駅の裏にテントを張らせてもらった。

足のいろんなところにマメができて痛かった。夜は暑いくらいだった。

■11/5(日) 近くの温泉施設「てんくうの湯」の営業開始を待って入浴し、名物の鯖寿司を買った。肉厚の鯖が激ウマ♪

帰りのバスで一緒になった人によるとトレイルの途中で熊と 30m 接近したとのこと。いるんだ、熊。遭遇しなくてよかった。

帰りの湖西線でみた比良山あたりの稜線美が綺麗で、いつかあの稜線歩きたいなあ、と思った。

高速道路の集中工事による大渋滞で大幅にスタートが遅れ、このトレイル今年も終われないか、と不安がよぎりましたが、無事終わらせることができて大満足です。

心配していた膝痛も出ずによかったです。

高島トレイルの前半は展望のいい歩きが多かったのに対し、後半は樹々に覆われあまり展望はありませんでした。その分直射日光に当たることなく、色鮮やかな紅葉を楽しめました。

コースタイム

11/3(金) 11:45 横谷 BS-12:40 横谷峠-14:50 駒ヶ岳-16:37 木地山峠(泊)

11/4(土) 7:02 木地山峠-7:48 百里ヶ岳-8:58 おにゅう峠-11:45 三国峠-16:30 桑原橋
朽木道の駅(泊)

11/5(日) 帰埼

おしまい

記:A原

